

2024 年 11 月 18 日

「トレーダム株式会社」への出資について
～ごうぎんスタートアップ1号投資事業有限責任組合～

ごうぎんキャピタル株式会社が無限責任組合員として運営する「ごうぎんスタートアップ1号投資事業有限責任組合（以下、当ファンド）」は、トレーダム株式会社（以下、当社）に出資いたしましたので、お知らせします。

記

1. 出資先概要

出資先名	トレーダム株式会社 代表取締役社長 浦島伸一郎 代表取締役 阪根信一	TRADOM
所在地	東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 4 階 FINOLAB 内	
出資形態	株式（第三者割当増資）の引き受け	
事業内容	AI 為替リスク管理システム「トレーダム為替ソリューション」の開発・運用、為替情報コミュニティ「トレーダムアカデミー」の運営	
設立	2015 年 1 月 5 日	
ホームページ	https://www.tradom.jp/	

2. 当社サービスの特徴と山陰合同銀行グループのお客様への課題解決について

今回、当ファンドから出資した当社は、独自のアルゴリズムを用いた約 4 万体の AI による為替予測・分析に強みを持っています。

これまで海外向け外貨建て取引のあるお客様は為替リスク管理において、「為替変動による不安定な業績」、「属人的な判断」、「担当者の精神的・業務的負担」など強い課題感をお持ちでしたが、当社ではその長年の悩みを解決する AI 為替リスク管理システム「トレーダム為替ソリューション」を提供しています。

機能面では、高度な AI により適切な為替予約を導く「ヘッジガイド」機能や、外貨建取引・為替予約等を統括管理する「外貨管理」機能など利用者目線で開発された為替業務支援ツールとなります。

当社が行ったテストでは、月 100 万ドルをトレーダムで 1 年間ヘッジした場合の経済効果は 3,000 万円程度と算出されており、導入メリットは大きいことから、これまで製造業・リテール・飲食業など累計 60 社超、年商 1 億円～1 兆円企業まで幅広く導入されています。また、実際の利用者の声として「為替の判断に費やす時間と労力の削減」、「精神的負担の軽減」、「為替に対する社員の意識向上」など、経済効果だけでなく副次的な効果もトレーダムの魅力となっています。

今後も山陰合同銀行グループでは、新商品開発や生産性改善など、お客様の課題解決につながるオープンイノベーションの創出を進めてまいります。

以上

【参考1】為替のお悩み

財務担当者・責任者、経営者の皆様へ

こんな為替のお悩みを解決します！



自分の判断だけでヘッジを行なっていて不安
いつ?どのように? リスクヘッジをしたいかの判断が難しい...

為替リスク管理が適切にできていない...

【参考2】トレーダムでできること

AI為替リスク管理ツール トレーダムでできること



POINT1
多数の分析機能でガバナンス強化
過去実施したヘッジ取引の分析や将来のリスク・リターンを可視化し、レポート



POINT2
為替リスク管理機能で業績の安定・改善
AIの予測に基づく為替予約の取り方の提案と為替リスク分析を行い、為替リスクを適切に管理する



POINT3
多数の分析機能でガバナンス強化
外貨建取引やヘッジ取引を一元管理し、業務効率化できる。

【参考3】機能紹介（一部抜粋）

3年以上の研究開発により、お客様目線に立った機能面が充実しております。

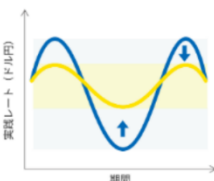
ヘッジガイド	外貨管理	分析機能
AIトレンド予測 為替エクスポージャー	為替レート表示 外貨取引管理	為替ヘッジ効果 AIレポート
フロー向けガイド ストック向けガイド	外貨預金管理 為替ヘッジ取引管理	AI 投資割合 ヘッジシミュレーション

ガバナンス強化	外部連携
ヘッジポリシー レートアラート機能	会計システム 金融機関連携
権限管理 ワークフロー	受発注システム連携 API CSV

現在13通貨ペア対応中！

【参考4】トレーダム導入による効果

①レートのばらつきを圧縮



レート変動=48円の場合

輸入企業 (USD支払) **34.52%**

輸出企業 (USD受取) **31.15%**

リスクを削減！^{※1}

②有利なレートに寄せる戦略を提示



輸入企業 (USD支払) **+2.24%**

輸出企業 (USD受取) **+1.94%**

の経済効果！^{※2}

月100万ドルをトレーダムで1年間ヘッジした場合の**経済効果** (円)

輸入企業 **3385万円**

輸出企業 **2878万円**

※1 2019-2023の各年のレートのばらつきの平均を算出
※2 2019-2023の各年の平均で算出
※3 2019-2023の平均で算出
経済効果算出方法：経済効果＝ノーヘッジおよびフルヘッジの支払金額と比較算出。「削減損失」＝「逸失利益」（％単位）

【参考5】実績

契約済み ARR
15ヶ月間の成長率
30倍

導入企業数
60社+

数字で見るトレーダム

総稼働AI数
約**4万**体

調達累計額
7.2億円突破

<本件に関するお問い合わせ先>

ごうぎんキャピタル株式会社

投資事業部 塚本 正志 TEL 0852-28-7170